

保護者の皆様

2号

子ども支援だより

令和2年6月1日

発行:南原小学校校内委員会

TEL: 978-2225

子ども支援コーディネーター

担当 幸喜 郁子

就学指導の手続きが始まります

学校生活の場において、「学びにくさ」や「つまづき」等で、困り感や不安を抱えているお子さんはいませんか。そのニーズを把握して、適切な支援を受けさせることができます。毎日の学校生活をより楽しく充実したものにするための方法を一緒に考えるのが就学指導です。

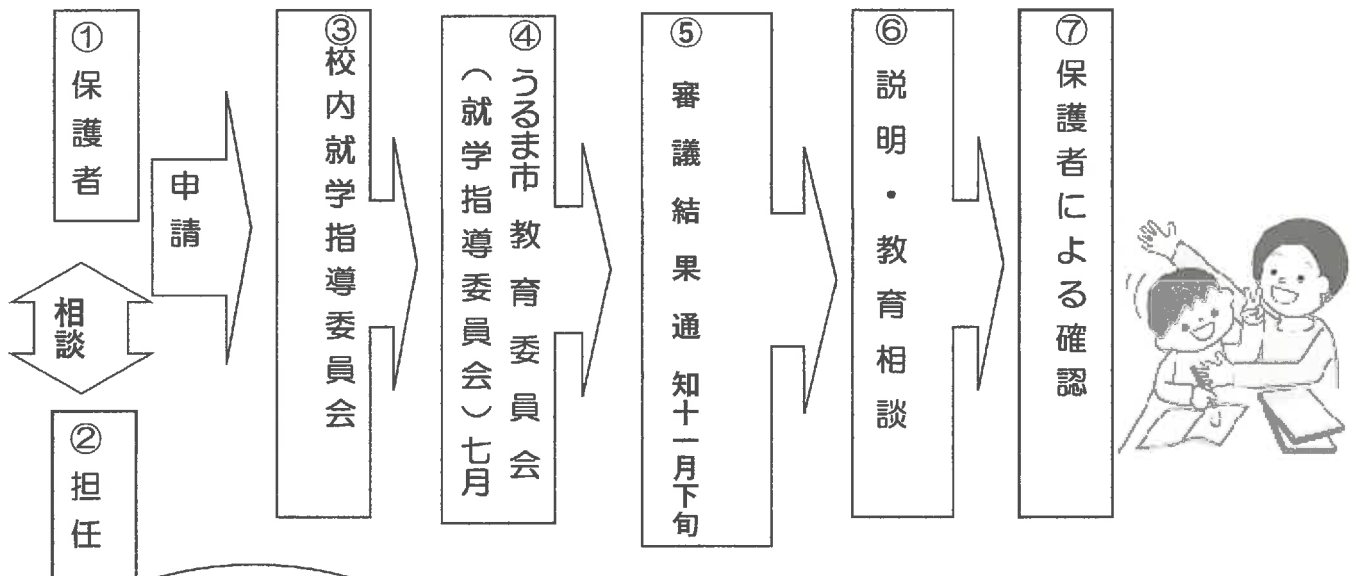


- ☆学力が思うように定着しない。 ☆極端に苦手な学習がある。
- ☆気になることがあるとすぐ出歩く。 ☆ささいなことで怒る。
- ☆発音、吃音が気になる。 ☆興味があること以外は集中が難しい。

※就学についての相談は、早めに担任に申し出て下さいね。

3・4年（6月15日まで）

1・2年（6月21日まで）



Q:『就学指導』ってどんなことするのですか？

A:保護者の了解を得て諸検査が行われます。「心理検査」「保護者面談」を行った上で、うるま市就学指導委員会の専門の先生と相談し、指導方針と在籍を検討します。

まずは、お気軽にご相談ください。

①通常学級から特別支援学級へ


②通常学級での支援（通級・担任の配慮・ヘルパー支援）

発達障がい に気づくポイント



☆ 早く気づき、適切な支援を受けることが重要です。

【人との関わり方】

- 一人遊びが多い
- 一方的でやりとりがしにくい 
- おとなしすぎる、受動的
- 大人や年上の子、年下の子とはよく遊ぶが同級生とは遊べない


【コミュニケーション】

- 話は上手で難しいことを知っているが一方的に話すことが多い
- おしゃべりだが、指導者の指示が伝わりにくい
- 離席が多い、話を聞いていない


【イマジネーション・想像性】

- 相手にとって失礼なことや相手が傷つくことを言ってしまう
- 友達がふざけてやっていることを、いじめられたととらえ違えてしまう
- 集団で何かしている時にボーッとしたり、ふらふら歩いたりする
- 急な予定変更時に、不安や混乱した様子が見られる

【感覚】

- 音に敏感で耳をふさぐ
- 靴下をいつも脱いでしまう
- 同じ洋服でないとダメ 
- 手をつなぎたがらない
- 極端な偏食
- 揺れているところを極端に怖がる
すき間など狭い空間を好む

【運動】

- 身体がクニャクニャし、床に寝転がることが多い
- 不器用、絵や文字を書く時に筆圧が弱い 
- 食べこぼしが多い
- 運動の調整が苦手、声が大きすぎる

【注意・集中】

- 一つの事に没頭すると、話しかけても聞こえていない
- 落ち着きがない、集中力がない、ぼんやりとしていることが多い
- 忘れ物が多い、支度や片づけができない

【学習】

- ☆ **学習面のどこかにアンバランス差が目立つ**
- 話が流暢で頭の回転が速いが、作業が極端に遅い
- 難しい漢字は読めるが、簡単なひらがなが書けない
- 図鑑や本を好んで読むが作文を書くことが苦手
- 黒板の字をノートに写すことが難しい

【情緒・感情】

- 極端な恐がり
- 些細なことで注意されると、カッとなりやすい
- 思い通りにならないとパニックになる
- 感情が高まると、なかなか興奮がおさまらない

